

りっぷる

エスコープ大阪機関紙

第220号

5

21. .24

C o n t e n t s

表紙

・種を独占せず生物多様性を破壊しないこと
で持続可能な未来をめざす

P2

・どこかの誰かにいのちの糧を牛耳られる
ことなく国内でしっかりコントロール
していくために!

P3

・活動報告 「わたしにちょうどいいピ
オサポダイアリー」キックオフイベン
ト / 「阻止ネット」学習会 脱原発社
会づくりに向けた地域活動 / 関西青果
委員会2月・3月報告

P4

・地域拠点づくり実践取り組み
・理事会報告・おたよりネット・編集後記



第一次 生活クラブ
2030
行動宣言



生活クラブはSDGsの理念に通じ、
かつ留まらない活動を実行していくことを約束します。

種を独占せず 生物多様性を破壊しないことで 持続可能な未来をめざす

2020年6月私たちは、生活クラブ連合総会で^{※1}「第一次生活クラブ2030行動宣言」を採択しました。その中にある「種子から生産・出荷・廃棄に至るまでの情報公開と公正で責任ある調達の実行」と「遺伝子組み換え・ゲノム編集など遺伝子操作をおこなった食べ物の生産に反対する」をすすめていくことで、これからの持続可能な社会をつくっていこうと考えています。

今回は2015年より協力して遺伝子組み換え反対運動をすすめている『たねと食とひと@フォーラム』共同代表の吉森弘子さんと遺伝子組み換え・ゲノム編集食品について話をしました。
(聞き手:理事長 北辻 美樹)



たねと食とひと@フォーラム
共同代表
吉森弘子さん

届け出だけで ゲノム編集食品が食卓へ

北辻 2020年12月11日厚労省は、ゲノム編集技術を用いて開発したトマトについて、届け出のみで販売流通を認めることを了承し、2021年5月6月頃、家庭菜園向けの苗の無償提供(当面はインターネットを通じて希望者に無償で提供)が始まるということです。国の規制については届け出だけで販売されることになり、表示までされないということにとても驚き憤りを感じています。

吉森 ^{※2}日本では、今回のGABAの多いトマトだけではなく、筋肉量の多いマダイ、おとなしいサバ、芽に毒のないジャガイモ、収量の多いイネなどが、国の研究所や各地の大学で開発されています。しかし、ゲノム編集に関する現在の国の規制は全く不十分だと思います。

は安全か否かの前にいのちの糧である食べものの情報がたどれ、わかって食べることで食の安全について取り組んできました。

吉森 ゲノム編集技術も、遺伝子を意図的に操作するという意味では、遺伝子組み換えと同じです。慎重に扱うべきでしょう。また、表示については、トレーサビリティの確保による社会的検証で十分可能だと考えています。

国内での生産が前提という これまでは違う段階に きている

吉森 これまでとは、明らかに段階(フェーズ)が違います。遺伝子組み換え作物は、生協組合員など皆さんの努力もあって、これまで国内では栽培されてきませんでした。日本で開発されたきたゲノム編集作物や魚の場合、国内での栽培や養殖が前提です。消費者をはじめ社会全体の合意がなければ、生産者は作らないはずなんです。

北辻 同感です。これまですすめてきた、生産から廃棄に至るまでの情報開示や環境に配慮することなどを、食べる約束をもつて生産者とこれからも取り組んでいく必要があります。生産者との信頼関係や共通認識のもと消費材についてゲノム編集食品対策ができるようおおぜいで取り組み、持続可能な未来をめざしていきたいと思っています。

すすめてきたことをもとに 私たちは何が できるか

吉森 生協などとも連携して取り組んでいきますが、私たちの団体は一人ひとりが賛同し、参加ができて、大きな視点や同じ目的でつながることができません。私たちも生産者とながり運動をすすめています。世論ごと変えていくことも近道と考えます。そのためにも今、気づいた人たちが変わっていくことが大事だと思います。

北辻 そうですね。これまでもグローバルな視点でローカルに行動することや^{※3}FEC自給ネットワークをすすめてきました。限りある資源を未来の子どもたちと分かち合うことができるよう、地域の一人としてまわりの人びととゲノム編集食品についても一緒に考え、運動をひろげていきます。

※1 第一次生活クラブ2030行動宣言: SDGsの理念に通じ、生活クラブが既に取り組んでいるもので2030年に向けてより発展させるべき目標をまとめたもの。

※2 GABA: 血圧を下げる働きがあるアミノ酸の一種「ガンマアミノ酪酸」通称ギャバ。

※3 FEC自給ネットワーク: 経済評論家の内橋克人氏が提唱した「FEC自給圏」構想に基づき、「食Food」「エネルギーEnergy」「福祉・たすけあいCare」を地域で自給・循環する経済・社会モデル。

どこかの誰かに いのちの糧を牛耳られることなく 国内でしっかりコントロールして いくために！



関西6生協 共通化における 基本構想

エスコープ大阪では、国内自給力を高める取り組みをすすめ、提携生産者とともに共同購入をすすめてきました。2013年には関西にある6つの生活クラブで事業統合が始まり、関西圏の食の自給ネットワークの実現をめざして「竜おうみ米」や「豚肉」「丹精国鶏」など主要品目の統一化を順次すすめてきました。2生協（「生活クラブ都市生活」「エスコープ大阪」）、4生協（「生活クラブ大阪」「生活クラブ京都エル・コープ」「生活クラブ奈良」「生活クラブ滋賀」）がそれぞれおたがいの取り組みから学んで、6生協としての取り組み体系を検討、共通化することにより消費材の利用伸長につなげることができています。19週（5月17日）からは「丹精国鶏」の関西6生協共通化がスタートしました。関西6生協の組合員約6万世帯の食べる力をさらに高め、持続可能な生産と消費に取り組んでいきます。

共通化する関西6生協の「丹精国鶏」の供給体系は、先行して冷蔵供給をおこなってきた生活クラブ大阪、奈良、滋賀、京都エル・コープの4生協の実績と生産者の協力により、他の多くの生協では実現できていない、そしてエスコープ大阪でも念願であった冷蔵アイテム中心の規格になります。一度も冷凍していない鶏肉のフレッシュさ、おいしさ、使いやすさなどをアピールすることで、関西の6生協で年間34万羽の消費をめざします（生活クラブ全体では鶏種の維持に必要な年間200万羽の消費を目標としています）。また豚肉同様に、農場から生産された「丹精国鶏」を一羽を余すことなく利用する観点から、冷凍アイテムも併用して利用をすすめていきます。



エスコープ大阪の鶏肉に関する 現状と課題認識

メインとなる冷蔵材はおむね規格重量が半減するため、毎週利用をすすめ今の2倍の組合員利用があることで初めて消費量を現状維持できます。

また、下表のようにエスコープ大阪の週の鶏肉利用人員率は16.5%と関西6生協の中でも一番低く【表1】参照、冷蔵材を供給している4生協と利用人員率で10%以上の差がありますが、エスコープ大阪での鶏肉利用者が少ないわけではありませぬ。これまでは冷凍中心で、家庭でストックしておき必要に応じて解凍、調理するので、利用する組合員が少ない傾向にありました。これからは冷蔵供給が中心となるので、毎

【表1】2020年7月度「丹精国鶏」実績

	利用人員率
エスコープ大阪	16.5%
生活クラブ都市生活	20.3%
生活クラブ大阪	28.3%
生活クラブ京都エル・コープ	29.7%
生活クラブ奈良	29.3%
生活クラブ滋賀	29.9%

週必要量を購入し利用する形に変えていきましょう。

今年はより多くの組合員の参加で、昨年以上の利用結果をめざしています。利用人員率目標は年間で週平均30%以上ですが、決して高い利用率ではありません。冷蔵の良さが実感できている豚肉は50%以上を達成しています。



私たちのめざす鶏

日本の食料自給率が先進国の中でもとりわけ低いことはみなさんもご存知だと思いますが、実は食料自給率の数値に全く反映されない側面があります。それが「種の自給」です。

私たちがめざす食料自給は食品や農産物そのものの国内自給だけでなく、食料主権を自分たちの手に取り戻すために「種の自給」が欠かせないという認識にたっています。

鶏肉の自給率は約7割と牛肉に比べてかなり高いです。しかしその鶏種を見ると、イギリスの企業「チャンキー種」とアメリカの「コップ種」という2種類が、日本で肉用に生産される鶏の98%を占めています。チャンキー種、コップ種など海外の企業が育てた鶏種の鶏を仕入れて生産している飼養業者は親鶏（おじいさんとおばあさん）を海外から買わないといけない構造になっています。「丹精国鶏」（国産鶏種「はりま」）や地鶏のように本来の意味での国産の鶏肉は、日本で消費している鶏肉のうち1%程度しかありません。鶏種を輸入に依存し



徳島県海部郡にある「丹精国鶏」生産者である瀧本さんの農場（2019年9月）

ていると大きなリスクがあります。鳥インフルエンザや大災害、社会的混乱など不測の事態が起き、親鶏の輸入が止まれば、国内で生産はストップし、鶏肉は食べられなくなります。非常時には自国優先になり、輸出は後回しになるのは当たり前なこと、昨年起こった日本でのマスク不足や現在のコロナワクチンの不足は良い例ではないでしょうか。

おおぜいの組合員で「丹精国鶏」を利用することで国産鶏種を維持し、生活クラブ以外でもこの取り組みが広がるようにしていきたいと思えます。消費者のちからで日本の抱える食の問題点を発信し、解決していきましょう。

『わたしにちょうどいい
ピオサポダイアリー』
キックオフイベント

2月10日(水)
(オンライン出席)

組織担当常務理事
糸川 江里子



「わたしにちょうどいい
ピオサポダイアリー」
「わたしにちょうどいい
ピオサポダイアリー」

私が私らしく
生き生きと暮らすための
情報が満載でした!

女性自身が理解
することの重要
性について話さ
れました。健康
づくりは、食べ
ものや食べ方、

生活クラブ連合会では、
会員単協で、健康づくり活動を展開
できるよう、組織活動推進会議で『わ
たしにちょうどいいピオサポダイア
リー』を発行しました。

このダイアリーを活用し、バー
ジョンアップさせた「ピオサポアク
ティブシニア(美食百彩)講座」の取
り組みを開始するにあたり、キック
オフイベントがオンラインで開催さ
れ、約90名が参加。エスコープ大阪
からは常務理事2名が参加しまし
た。

ダイアリーを監修した医師の天野
恵子さんの講演もおこないました。
天野さんはご自身が更年期に辛かつ
た体験から、女性が生き生きと社会
で活動していくためには、40代から
の健康づくりと、更年期の仕組みを

運動や友人関係まで多岐にわたる
すが、楽しみながら一日に一度は自
分をほめることも勧められました。
生活クラブ連合会の管理栄養士の
山田由香莉さんからは、ダイアリー
が自分の健康のために「何が必要な
のか」を知り、次のライフステージに
向けて生活スタイルを見直すきつ
けを作る内容になっていることや、
ダイアリーの具体的な使い方の紹介
がありました。

また、福祉担当の吉田常務理事か
らピオサポダイアリーを活用したエ
スコープ大阪の活動計画を発表しま
した。エスコープ大阪では、「健康」
「お金」「暮らし」の視点から女性が
いきいきと自分らしく生きるための
連続講座をすすめています。

関西青果委員会
2月・3月報告

2月12日(金)、3月5日(金)
(オンライン出席)

泉北ニュータウン地域理事
真柄 恭子



オンラインでの
関西青果委員会のように

驚きもある関西青果委員会

証、栽培基準の調
査活動や意見交
換などを毎月お
こなっています。
2020年12月
と2021年1月
の委員会はコロ
ナ禍で延期。2月
に

「阻止ネット」(「六ヶ
所再処理工場」に反対し
放射能汚染を阻止する
全国ネットワーク)によ
る学習会がオンラインで開催されま
した。

はじめに原子力資料情報室の伴 英幸
共同代表から、「六ヶ所再処理工場は現在
トラブル続きで建設工事はストップ状
態。2022年に竣工予定だが、安全対
策工事の認可に時間がかかるため延期に
なる。これにかかるコストは国民の負担
になり、稼働すれば原発1年分の放射能
が1日で環境中に放出される」との報告
がありました。

「生活クラブ北海道」からは、「放射性廃
棄物」を地中に埋める最終処分場の計画
に前向きな姿勢を示した寿都町・神恵内
村の周辺で、次々と核のごみの持ち込み
のか」という質問をしたところ、職員か
ら「昼夜の温度差で着色が進むので、色
の濃度ではない」と説明がありました。

3月の委員会は、梨の生産者も参加
してのオンライン会議となりました。
私は二十世紀梨は緑色をしていると
思っていました。届いたら黄色だった
ので質問したところ「緑色のものは未
熟で、適熟したものは黄色い」とのこと
で驚きました。

関西青果委員会では、
生活クラブ関西6生協
の組合員と(株)生活クラブ関西の職
員、場合にに応じて生産者も参加し、関西
運営委員会で決定した関西で統一を推
進する青果の内容確認、計画生産・計画
消費に向けての目標確認と利用推進の
検討のほか、次のシーズンに向けた検

やつとオンラインで開催し、職員から
柿と根菜類の評価報告がありました。
柿は、シーズン前半は「未熟」という
評価が多かったため、対応が今後の課
題となりました。私からは「柿の皮の
色の濃いものと薄いものは熟度が違う

を拒否する『核抜き条例』を制
定し、幌延深地層研究計画を
延長に持ち込んでいるとの報
告がありました。

「生協あいコープみやぎ」か
らは、「東北電力女川原発2号
機は事故を起こした福島第一
原発と同じ沸騰水型軽水炉で
あり、福島第一原発事故の原
因究明がされていないのに、
同じ型の原発を動かしていいのか」とい
う意見があり、再稼働に必要な地元と同
意が真に県民の総意とは言えない。今後
「県民の総意に基づいて再稼働の是非が
決められることを求めて活動してい
く」との決意報告がありました。

「グリーンコープ」からは、「2020年
4月より原発事故に対する賠償負担金と
廃炉円滑化負担金を電気料金に上乗せし
ていることに対し、違法であると九州電
力を提訴中」との報告がありました。

脱原発に向けて活動している多くの団
体の活動や想いを共有し、これからも「原
発いらない」の声を挙げ続けなければ、と
の思いを強くしました。

200名を超える参加者で
盛り上がったオンライン学習会

「阻止ネット」(「六ヶ
所再処理工場」に反対し
放射能汚染を阻止する
全国ネットワーク)によ
る学習会がオンラインで開催されま
した。



海辺に立つ、六ヶ所再処理工場
(青森県六ヶ所村)

「生協あいコープみやぎ」か
らは、「東北電力女川原発2号
機は事故を起こした福島第一
原発と同じ沸騰水型軽水炉で
あり、福島第一原発事故の原
因究明がされていないのに、
同じ型の原発を動かしていいのか」とい
う意見があり、再稼働に必要な地元と同
意が真に県民の総意とは言えない。今後
「県民の総意に基づいて再稼働の是非が
決められることを求めて活動してい
く」との決意報告がありました。

皆さん、『わが家の定番』を
教えてください!



中村 勇介
(27歳)
エスコープ大阪在籍年数6ヵ月
[共同購入フロア(泉北支所)]

分なりに勉強をしてい
ますが、知らないことも
多く、利用を重ね、「これ
がわが家の定番」を見つ
けたいと思っています。
現在コロナ禍で、配達
時にも組合員の皆さん
との対面での会話を控
えないといけない状況
です。情報伝達におい
てもご不便をおかけし
ますが、この状況が落ち
着いた際には、ぜひオス
スメの『わが家の定番』
消費材を教えてください
ければ嬉しいです! 今
後も皆さんが少しでも
楽しい気持ちになって
もらえるよう、一生懸命
頑張ります! どうぞよ
ろしくお願いします。

私たちの生産者

<第20回> 株式会社青い海 代表取締役社長 又吉 元榮さん



私たちの消費材の生産者を取り上げ、その人物像や
消費材・生活クラブへの想いなどを紹介します。

沖縄県で生まれ育った
又吉さんは、集団就職で
横浜市で働いていました
が諸々の事情で沖縄に
戻った際20歳の時に初代
社長で、又吉さんとは異
父兄弟である知念隆一さ
んが創業された「(株)青い
海」に就職されたそう
です。沖縄県が本土復帰し
た年です。本土は不景気
でオイルショックが起
こった時代で、沖縄県も
復帰直後でドルから円に
代わり混乱の時期でもあ
りました。最初はアルパ
イトから入り、言われる
ままに塩づくりの経験を

積まれたそうです。
生活クラブとの出会
いは工場の移設問題や複
合施設のレストラン経営
の赤字、主軸の塩も販売
に苦慮しているときで
した。知念社長が本土で師
事していた森下博士より
血液生理学を多く学ん
だ経験から「血液と塩」の
重要性を各地方で講演
会及び多くの販売実績
をあげていました。それ
を聞きつけた生活クラブ
の担当者が「青い海を訪
問し経営理念に共感し、
本格的に取引を開始さ
れたそうです。

趣味はゴルフと絵を
描くことで、「コロナが収
束しましたら沖縄県並
びに弊社にお越しくだ
さい」とのことでした。



第10回 理事会報告 <4月7日>

【2月度決算報告】

●供給高 2億4,597万円(前年同月比112.8%)

*配達日数は2日多い。

●組合員数 19,267名(前月比-32名)

●一人当たりの出資金 84,606円

【3月の放射能検査結果】

3月は連合消費材724検体の放射能検査を実施しました。生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

【決議事項】

①総代会議案「役員選任の件」について

【協議事項】

①議案書の提案・意見集約

②2021年度の組織体制

③2021年度エネルギー政策提案アクション(仮)実施計画

④2021年度グリーンシステムキャンペーンについて

⑤2021年度生活クラブグループ共済推進研究会への参加について

⑥エコロ制度集団託児で使用するおもちゃ等の購入について

⑦2021年度のエスコープ大阪まつりについて

⑧サステナブルフェス! 2021の地域の取り組み確認

⑨秋のおさそい推進月間のまとめ

⑩個人情報申請書の書式変更について

⑪地域委員会の会議用フォーマット

⑫下期サークル活動報告について

【報告承認事項】

①2021年度予算の最終確認

②機関紙りっぷるについて

2021年度はエスコープ大阪「第6次中期計画」に掲げている地域拠点づくりの実験取り組みをすすめ、『人のストックポイント』となるエスコープ大阪のプラットフォーム(しくみ・機能)をつくります。

※ストックポイント…組合員の主体的な参加、運営により、身近な問題から社会の問題までを解決していく場を地域の人々と関わりながらつくっていく場所。

エスコープ大阪は設立以来、社会の変遷に伴い出現するさまざまな課題に対してその都度「協同の力」で問題解決を図ってきました。現在の社会や地域、エスコープ大阪の状況を共有し5年後という少し先の未来を見据え、私たちがどの方向に向かってすすむかを示す計画、「第6次中期計画」を2018年の総代会で決定しました。実行方針の中で各地域に拠点をづくり、組合員が身近な問題から社会の問題までを地域のエリアで考え、主体的に取り組む、組合員が元気に関わるフィールドを確保し地域に人が集まり、豊かな交流活動をおこないながら、生きやすい社会づくりをすすめていくことを確認しています。

身近で起きてる問題を他人任せにせず、おおぜいの「私」で解決していく。拠点づくりの協議がすすんだ地域委員会はありましたが実現には至っていません。2021年度は常務理事会が中心となって泉北ニュータウン地域エリアで実験取り組みをおこなう予定です。近隣の人たちとつながり、さまざまな課題を解決するためのしくみやサービスをつくります。そのためにスペースを借りて、ワークショップ、NPO法人、行政などと連携し、エスコープ大阪としてのプラットフォームをつくりたいです。

実験拠点では、今まで私たちが課題としてあげていた「食や環境」「少子高齢化」「子育て・福祉」の視点にコロナ禍での課題も合わせ、何が必要か、何ができるかを近隣の人たちと共に考え、エスコープ大阪からの「この指とまれ」でしくみ作りをしていきたいと思います。

【拠点を使った活動イメージ】

- 居場所づくり…近隣の人たち(老若男女)が集まり、情報共有や課題解決への参加を広げる。
- 食堂機能…フードバンク・フードドライブなど必要な人たちへの食料提供。
- 働く場…コロナ禍などで困窮する学生や母親たち、高齢者の働く場づくり。
- 荷受け場の機能…消費材の受け取りを専任当番制でおこない、消費材供給を通じた人と人のつながりや主体的な関わりをつくる。
- 農産物の即売や畑作業、ものづくりなど…生産者をつながり、提携していく。
- 学習の場…食育、CO₂削減、せっけん運動などについて学習の場を設け、エスコープ大阪の運動を広げる。
- 消費材の即売会…組合員拡大や組合員活動の担い手づくりにつなげる。

このような、取り組みから新たに生まれる社会的サービスの継続化、事業化も後押ししていきます。これからたくさんの人たちと出会い、ともに身近にある地域の課題や社会の問題を解決していけるように取り組んでいきます。

理事長 北辻 美樹

※フードドライブ…家庭で余っている食べ物を持ち寄り、地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動。

おたよりネット

「りっぷる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

218号1面「せっけんを入り口に社会の問題に気づき解決していこう」を読んで
紙面モニター Tさん

「せっけんは社会問題を提起するための道具で、せっけんを使うことが目的ではない」というお話が心に残りました。「自覚的消費者」とはどのようなことが、これからもエスコープ大阪の組合員として常に意識していきたいなと思いました。

218号2面「東日本大震災から10年にあたり」を読んで
紙面モニター Oさん

カタログで見つけると注文したくなる「おとうふ揚げ」いつもおいしくいただいています。「復興支援になれば…」と食べていたのに、今やすっかり定番品になりました。おとうふ揚げ→高橋徳治商店→フェスタでお会いした時の高橋英雄さんとの会話、連想ゲームのように思い出します。高橋さん、あの時のやり取りは今も覚えています。私に元気と力をくれてありがとうございました。今日もおとうふ揚げを食べて仕事頑張ります!! またお会いできる日を楽しみに、それまで約束通り仕事頑張ります!!

Ripple おたよりネット

(ペンネームOK)

●地域名

●お名前

●組合員コード

●班名

消費材の苦情についてはこの用紙でなく、電話またはメモで。この欄への投稿・ご意見は紙面でご紹介することがあります。

理事會事務局行き
220号(2021.5.24)

お詫び

新年度の発行が5月号からになってしまい、組合員読者をはじめ関係者の皆さまにご迷惑をおかけしましたこととお詫びいたします。今後このようなことにならないように、スケジュール管理をしっかりしていきます。機関紙「りっぷる」をこれからもよろしくお願いいたします。

理事長 北辻 美樹

編集後記

今月の表紙でご登場いただいた「たねと食とひと@フォーラム」の吉森さんと事務局長の西分さんを講師として、2月末に開催した「ゲノム編集技術オンライン学習会」は定員10名のところ約2倍の人数の申し込みがあり、組合員のゲノム編集食品に対する関心の高さがうかがえました。まずは関心を持つことが大切で、そこから問題の解決に向かって自分にできることを考え行動していく。その後押しになるような紙面づくりをしていきたいと思ひます。(K)

発行:生活協同組合エスコープ大阪 制作:W.Co パックプランニング

生活協同組合エスコープ大阪

〒590-0151 堺市南区小代727

TEL.072-293-4660 FAX.072-341-0022

https://s-osaka.seikatsuclub.coop/